生徒に見られるつまずき

　展開図から必要な図形を見いだして、問題解決することができない

つまずき解消に向けた指導のポイント

　既習事項を活用するためにどのような補助線や太線をかけばよいかを考えさせたり、その理由を話し合わせたりする活動を通して、図形の中から問題解決に必要な図形を見出すことができるようにする

指導事例集ｐ．３５

１　学年・単元名　　第２学年　図形の調べ方（図形領域）

２　単元目標

　　三角形の内角の和について調べ、それをもとにして多角形の角について調べる。

３　単元の内容

　・対頂角

　・平行線と角の関係

　・多角形の内角、外角の和

**・特別な形の角の和**

４　本時の目標

　・星形多角形の内側の角の和をいろいろな方法で求めることができる。

・星形多角形の内側の角の和について、求め方を説明することができる。

５　展開

|  |  |
| --- | --- |
| 学習活動 | 指導上の留意点  **太字：つまずきに対する手立て** |
| １　既習事項を確認する。  ・平行線と角  ・三角形の内角の和  ・三角形の内角と外角  ・特殊な形の図形  ２　本時の課題を把握する。  星形五角形の５つの角の和を求める。  ワークシート使用  参考：記入済みワークシート使用    ３　考えた求め方を発表する。  ４　まとめをする。  ５　星形七角形、星形九角形の問題に取り組む。 | **・既習の角についての基本的な性質を想起させることで、本時の課題に活用できるようにする。**  ・三角形の内角・外角の性質を利用する問題を振り返らせる。  ・５つの角の和が１８０°になることを確認させる。  ・他にも考え方があることを伝え、班で考えさせる。  **・つまずいている生徒には、「多角形の内角・外角の性質」や「平行線と角の性質」がどこに利用できそうかを考えさせる。**  **・どの図形に対してその性質を用いたのかを説明させる。**  ・順番に発表させ、いろいろな考え方ができることを知らせる。  ・発表した考え方に誤りがある場合も考えられるので、発表後に正しいかどうか確認する時間をとる。  **・どの性質を用いているのか、自分が解いた方法とどこが共通しているのかを考えながら聞くようにさせる。**  ・発表した意見を参考に個人で考えを整理する。  ・いろいろな考え方があることを理解させる。  ・星形五角形と同じ考え方ができないか考えさせる。  ・興味のある生徒には星形ｎ角形についても考えさせる。 |